

事業のタネシート

活動地域・団体名：愛媛県今治市および松山市、一般社団法人をかしゃ

事業名称 1：道にまつわる物語 第一章、身近な地域の魅力を知る		
あらすじ		
普段何気なく見ている周りの自然や文化や歴史。機構や食べ物。しかしそれは見方を変えればかけがえない宝物になる。		
ストーリー		
今治から松山に至る国道317号線、それは豊かな自然、歴史、文化あふれる土地。そしてその玄関口たる「今治」は日本一の造船と海運の町。世界からモノと情報、人々が集う町。ここには世界から魅力的な人たちが集う、さあ、ここ今治を入り口に、未知の世界へ旅立とう！たくさんの出逢いがあなたを待っている。もし疲れたら、秘湯鈍川や奥道後、道後温泉に立ち寄ると良い。そしてその先、海の彼方にある離島、中島を目指せ！		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	地域の人たちが自分の地域や近隣自治体の魅力に気づき「近場で楽しむ」ことができるようになる。その姿にひかれ、地域外から人々が訪れる。	「自然は無限にある、当たり前、タダ」という価値観。「体験」というソフト商品が当地には少ない、事業者もいない。事業者間の連携の不足。金融機関が自然や文化や歴史に価値を見出していない。
②課題	身近な地域のことは客観的に見ると魅力的でも地元の人にとっては「当たり前」になっている。	
③なぜこの事業をやるのか (Why)	地域の魅力に気づくことで自己肯定感とシビックプライドを高め、地域内の経済循環を生み出すため。	
④地域資源	しまなみ海道、松山城、道後温泉、奥道後温泉、鈍川温泉、豊かな山や川や森林資源、瀬戸内ならではの島嶼美、温暖な気候と人々、美味しい食	
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)	釣り、自然体験、川遊び、エコツーリズム、マイクロツーリズム、ワーケーション	
⑥担い手 (Who)	地域内の農林漁業者、観光業者、ガイド、交通事業者、中小企業、宿泊業者、	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	自然資源を体験することで、体験料を取る、自然に経済的価値が生まれる、都会と田舎との交流人口の増加、やがては移住につながる。	外部からの観光客、外国人、よそもの、都会からの来訪者
⑧事業で生じる成果		